2021年度 愛知学泉短期大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
52401	幼児表現(音楽Ⅰ) Expression of Young Children (Music Ⅰ)	津島　忍・柏木典子 ピアノ指導担当教員		共通	1	必修	1前期

科目の概要

「幼児表現(音楽Ⅰ)」はクラス授業とピアノ個人指導を並行して開講する。
クラス授業では、手遊びの創作を行う。発声法として正しい姿勢と声の出し方を身につけ発声練習を基盤とする。そして明瞭な言葉の発音を身につけ保育現場に適した声の響きを目指す。また適宜、音楽理論も学ぶ。
ピアノ個人指導では、学生の進度状況を判断し、初心者から上級者までの能力別の4コースが設定され、無理のない学習ができることをめざしている。指導は個人指導で行われ、基礎的な奏法と弾き歌いの基礎技能の習得を主眼としている。就職試験や現場で使われている曲を効果的に学習できるように配慮している。
この授業では、幼児教育及び保育の現場で活躍できるための専門知識・技能を習得する。

学修内容	到達目標
① 発声法を学ぶ。 ② 「わらべうた」遊びは、人を育てる遊びである。年齢とともに展開していく遊び唄、聞かせ唄、呼びかけ唄、手遊び唄、鬼遊び唄、はやし唄などの魅力を遊びながら学ぶ。 ③ 行事の歌・挨拶の歌・季節の歌を学び、クラスで実践する。 ④ ピアノ個人指導では、ピアノカルテに指定された曲で、ピアノの基礎的な奏法および弾き歌いの基礎知識・技術・表現力を学ぶ。	① 豊かな表情、伸びやかな声で、歌うことができる。 ② 「わらべうた」遊びをレパートリーとし、保育現場で実践できる。 ③ 行事の歌・挨拶の歌・季節の歌を通して園生活においての大事な歌を歌うことができる。 ④ 子どもたちの音楽表現を支援するためのピアノ演奏と弾き歌いができる。

学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素		学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例
前に踏み出す力	主体性	技術の習得のために自ら練習をすることができる。 授業の中で不明な点や疑問があればそのままにせず質問して解決することができる。
	働きかけ力	
	実行力	困難があっても目標を変更せず到達することができる。
考え抜く力	課題発見力	苦手なことも諦めず課題を見極めることができる。 予習、復習の際に学習上の問題点を考えて取り組むことができる。
	計画力	
	創造力	固定概念に捉われることなくいろいろな方向から考えることができる。
チームで働く力	発信力	自分の感じたことや、考えを発表することができる。
	傾聴力	歌唱・グループ発表を通して、意見交換や自分の意見を述べることができる。
	柔軟性	
	情況把握力	良い授業を作り上げるため、クラス全体の状況を把握することができる。
	規律性	遅刻、無断欠席など、学修意欲欠如をきたす行動をせず、授業が円滑に進行するようルールを守ることができる。欠席した場合は、欠席届を提出し、フォローレポート課題を行う。
	ｽﾄﾚｽｺﾝﾄﾛｰﾙ力	

テキスト及び参考文献

テキスト：「こどものうた200」1,600円　「続こどものうた200」1,800円　小林美実　チャイルド社、「あそびうた大全集200」1,800円　細田淳子　永岡書店、「併用曲集」（ピアノコース別の課題曲の楽譜）500円　音楽研究室編（予価）、「メトードローズピアノ教則本」1,400円　音楽之友社、「全訳バイエルピアノ教則本」900円　全音楽譜出版社、「ブルグミュラー２５の練習曲」「ソナチネ　アルバム１」（全音楽譜出版社）他を、ピアノ進度によって使用する。必要に応じてプリントを配布する。
参考文献：授業中、適宜紹介、指示する。

他科目との関連、資格との関連

他科目との関連：幼児表現（音楽Ⅱ・Ⅲ）、子どもの音楽表現、保育内容（表現）
資格との関連：幼稚園教諭二種免許状、保育士資格

学修上の助言	受講生とのルール
・「わらべうた」遊び・行事の歌・挨拶の歌・季節の歌など、保育現場をイメージして、自分のレパートリーを増やす。 ・ピアノ個人指導で演奏する曲や弾き歌いは暗譜で演奏する。いつでも演奏できるレパートリーが増えるように意識する。予習（練習）が必ず必要である。	・欠席、遅刻をしない。時間厳守で積極的な態度で受験する。 ・グループで行うこともあるので、最低限度守らなければいけないこと（ルール・マナー・約束・提出物の期限）を理解し、他人に迷惑をかけない。

【評価方法】

評価対象	評価方法		評価の割合	到達目標				各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント
学修成果	学期末試験	筆記（レポート含む）・実技・口頭試験	45	①				実技試験を実施し、子どもたちの音楽表現を支えるに相応しい表現力、技術力を【到達目標の基準】に基づいて評価する。
				②				
				③				
				④	✓			
	平常評価	小テスト	0	①				
				②				
				③				
				④				
		レポート	0	①				
				②				
				③				
				④				
		成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）	45	①	✓			・６週目のクラス授業では発声法の学びの成果発表、８ 週目のクラス授業では弾き歌いの成果発表、15週目のクラス授業では「幼児表現（音楽Ⅰ）」で学んだ曲の中から、対象年齢・ねらい・導入・遊び方を踏まえて、模擬保育形式で演習、発表し、評価をする。 ・所定のピアノ進度が達成できなかった場合は減点する。 ・欠席した場合は、その授業で演習された歌の歌詞を覚えて、次週の授業時にフォローレポート用紙に書いて提出する。未提出の場合は減点する。
				②	✓			
				③	✓			
				④	✓			
学修行動		社会人基礎力（学修態度）	10	①	✓			（主体性）（実行力）（課題発見力） ・技術の習得のために自ら練習をすることができる。(1日平均40分) （創造力）（発信力） ・発表・演奏において、学んだことをさらに工夫し発表することができる。 （傾聴力） ・授業の内容や、他人の発表をしっかりと聴き、自分の学びとして意識付けできる。 （規律性） ・遅刻、無断欠席など、学習意欲欠如をきたす行動をせず、授業が円滑に進行するようルールを守ることができる。 ・欠席した場合は、欠席届を提出し、フォローレポート課題を行う。
				②	✓			
				③	✓			
				④	✓			
総合評価割合			100					

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
・歌唱は明るい笑顔で歌にふさわしい音楽表現が、明瞭な言葉の発音と拍動に合わせたリズム感で情感豊かに表現できる。 ・実技試験は、Aは演奏に必要な技能の上達が特にみられ、表現に優れ、保育現場での実践に問題がないと評価できる。Sはさらに表情豊かに演奏でき、技能、表情共に特に優れていると評価できる。 ・授業態度に問題がなく、自ら進んで学ぼうとする姿勢が顕著である。	・歌唱は歌詞を間違えずに歌にふさわしい音楽表現ができる。 ・実技試験は、Cは演奏に必要な技能の上達、獲得がみられ、最後まで演奏できる。Bはさらに、しっかりと安定した演奏ができる。 ・授業態度に問題がなく、自ら進んで学ぼうとする姿勢がある。

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1	オリエンテーション 授業の進め方（わらべうた・童謡について） 発声法（正しい姿勢） 学園歌・大学の歌を覚える 音楽理論 ピアノ個人指導	講義・演習	習った歌を暗譜で歌唱することができる。 ピアノ個人指導において暗譜で演奏し合格することができる。	（予習）次に習う曲の歌詞をよく読む。次のピアノ曲の練習 （復習）習った曲をよく練習し全部覚える。	90	主体性 実行力 課題発見力 発信力 傾聴力 情況把握力
2	発声法（正しい声の出し方）学園歌・大学の歌を覚える 日本のわらべうた（となえ）リズム感を身につける 音楽理論 ピアノ個人指導	講義・演習（教壇の前に立ち歌を暗譜でグループ発表）の後に、内容についてフィードバックする。	習った歌を暗譜で歌唱することができる。 ピアノ個人指導において暗譜で演奏し合格することができる。	（予習）次に習う曲の歌詞をよく読む。次のピアノ曲の練習 （復習）習った曲をよく練習し全部覚える。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力
3	発声法（口形） 学園歌・大学の歌を覚える 日本のわらべうた （レ・ド）明瞭な言葉の発音を身につける。 音楽理論 ピアノ個人指導	講義・演習（教壇の前に立ち歌を暗譜でグループ発表）の後に、内容についてフィードバックする。	習った歌を暗譜で歌唱することができる。 ピアノ個人指導において暗譜で演奏し合格することができる。	（予習）次に習う曲の歌詞をよく読む。次のピアノ曲の練習 （復習）習った曲をよく練習し全部覚える。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力
4	発声法（音楽表現を伴う強弱） 園生活・挨拶の歌（毎日の歌として大事な歌を覚える） 気持ちを伝える豊かな表現を身につける 日本のわらべうた（レ・ド） 音楽理論 ピアノ個人指導	講義・演習（教壇の前に立ち歌を暗譜でグループ発表）の後に、内容についてフィードバックする。	習った歌を暗譜で歌唱することができる。 ピアノ個人指導において暗譜で演奏し合格することができる。	（予習）次に習う曲の歌詞をよく読む。次のピアノ曲の練習 （復習）習った曲をよく練習し全部覚える。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力
5	発声法（正しい発声で歌を表現） 行事の歌（春の歌）春という季節性を感じる感性の育成。 日本のわらべうた （レ・ド） 音楽理論 ピアノ個人指導	講義・演習（教壇の前に立ち歌を暗譜でグループ発表）の後に、内容についてフィードバックする。	習った歌を暗譜で歌唱することができる。 ピアノ個人指導において暗譜で演奏し合格することができる。	（予習）次に習う曲の歌詞をよく読む。次のピアノ曲の練習 （復習）習った曲をよく練習し全部覚える。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力
6	発声法確認小テスト 童謡（春の歌）日本のわらべうた（レ・ド・ラ・）拍子に乗って手拍子や動きをつけて歌えるようにする 音楽理論 ピアノ個人指導	講義・演習（教壇の前に立ち歌を暗譜でグループ発表）の後に、内容についてフィードバックする。	習った歌を暗譜で歌唱することができる。 ピアノ個人指導において暗譜で演奏し合格することができる。	（予習）次に習う曲の歌詞をよく読む。次のピアノ曲の練習 （復習）習った曲をよく練習し全部覚える。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力
7	うたあそび（歌に合った動きを付けながら歌えるようにする） 日本のわらべうた （レ・ド・ラ） 音楽理論 ピアノ個人指導	講義・演習（教壇の前に立ち歌を暗譜でグループ発表）の後に、内容についてフィードバックする。	習った歌を暗譜で歌唱することができる。 ピアノ個人指導において暗譜で演奏し合格することができる。	（予習）次に習う曲の歌詞をよく読む。次のピアノ曲の練習 （復習）習った曲をよく練習し全部覚える。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力
8	ピアノ実技中間テスト（前半は、ピアノ個人指導を受ける）	演習・発表の後に、クラス授業担当、ピアノ指導担当教員より内容についてフィードバックする。	マナーに気を配り、曲の最後まで歌いながら暗譜で弾ききることができる。	（予習）演奏のみならず、立ち居振る舞い等を考えて、テストに臨む。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 情況把握力 規律性 ｽﾄﾚｽｺﾝﾄﾛｰﾙ力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9	行事の歌（夏の歌）日本のわらべうた（レ・ド・ラ）歌詞の意味に合わせて遊びしぐさをつけて歌えるようにする 音楽理論 ピアノ個人指導	講義・演習 （教壇の前に立ち、歌を暗譜でグループ発表）の後に、内容についてフィードバックする。	習った歌を暗譜で歌唱することができる。 ピアノ個人指導において暗譜で演奏し合格することができる。	（予習）次に習う曲の歌詞をよく読む。次のピアノ曲の練習 （復習）習った曲をよく練習し全部覚える。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 情況把握力
10	童謡（夏の歌）夏という季節性を感じる感性の育成。 日本のわらべうた （ミ・レ・ド） 音楽理論 ピアノ個人指導	講義・演習 （教壇の前に立ち、歌を暗譜でグループ発表）の後に、内容についてフィードバックする。	習った歌を暗譜で歌唱することができる。 ピアノ個人指導において暗譜で演奏し合格することができる。	（予習）次に習う曲の歌詞をよく読む。次のピアノ曲の練習 （復習）習った曲をよく練習し全部覚える。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 情況把握力
11	うたあそび（歌をどんな時にどんな風に歌うのかを知る） 日本のわらべうた （ミ・レ・ド） 音楽理論 ピアノ個人指導	講義・演習 （教壇の前に立ち、歌を暗譜でグループ発表）の後に、内容についてフィードバックする。	習った歌を暗譜で歌唱することができる。 ピアノ個人指導において暗譜で演奏し合格することができる。	（予習）次に習う曲の歌詞をよく読む。次のピアノ曲の練習 （復習）習った曲をよく練習し全部覚える。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 情況把握力
12	うたあそび（動物・食べ物・乗り物～色々な物になりきって歌う） 日本のわらべうた （ミ・レ・ド・ラ） 音楽理論 ピアノ個人指導	講義・演習 （教壇の前に立ち、歌を暗譜でグループ発表）の後に、内容についてフィードバックする。	習った歌を暗譜で歌唱することができる。 ピアノ個人指導において暗譜で演奏し合格することができる。	（予習）次に習う曲の歌詞をよく読む。次のピアノ曲の練習 （復習）習った曲をよく練習し全部覚える。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 情況把握力
13	日本のわらべうた （ミ・レ・ド・ラ・ソ） 友達と遊びしぐさをつけて歌いながら遊ぶ楽しさを味わう 音楽理論 ピアノ個人指導	講義・演習 （教壇の前に立ち、歌を暗譜でグループ発表）の後に、内容についてフィードバックする。	習った歌を暗譜で歌唱することができる。 ピアノ個人指導において暗譜で演奏し合格することができる。	（予習）次に習う曲の歌詞をよく読む。次のピアノ曲の練習 （復習）習った曲をよく練習し全部覚える。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 情況把握力
14	よく知られた日本のわらべうた（ルールを理解して協力やいたわりの気持ちを育て社会性を養う指導法を学ぶ） 音楽理論 ピアノ個人指導	講義・演習 （教壇の前に立ち、歌を暗譜でグループ発表）の後に、内容についてフィードバックする。	習った歌を暗譜で歌唱することができる。 ピアノ個人指導において暗譜で演奏し合格することができる。	（予習）次に習う曲の歌詞をよく読む。次のピアノ曲の練習 （復習）習った曲をよく練習し全部覚える。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 情況把握力
15	歌唱の個人評価（クラス授業） 曲の対象年齢・ねらい・導入・遊び方を考えて模擬保育形式で演習する ピアノ個人指導	講義・演習 （教壇の前に立ち、一人で表現をつけて歌を暗譜で発表）の後に、内容についてフィードバックする。	模擬保育形式の内容を準備し発表することができる。 ピアノ個人指導において暗譜で演奏し合格することができる。	（予習）保育者に求められる要点を踏まえて模擬保育形式の演習に臨む。次のピアノ曲の練習	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 情況把握力

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 情況把握力 規律性 ｽﾄﾚｽｺﾝﾄﾛｰﾙ力

2021年度 愛知学泉短期大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
52402	幼児表現(音楽Ⅱ) Expression of Young Children (Music Ⅱ)	津島　忍・柏木典子 ピアノ指導担当教員		共通	1	必修	1後期

科目の概要

「幼児表現（音楽Ⅱ)」はクラス授業とピアノ個人指導を並行して開講する。
クラス授業では、子どもの歌（わらべうた・唱歌・童謡・あそびうた）を中心に歌唱力を身につける。音程、曲の理解（歌詞理解）を行い、自分なりの歌唱表現ができることを目指す。
ピアノ実技では、「幼児音楽表現Ⅰ」のピアノ指導を修了した学生の進度状況を判断し、能力別のコースが設定され、無理のない学習ができることをめざしている。指導は個人指導で行われ、基礎的な奏法と弾き歌いの基礎技能の習得を主眼としている。就職試験や現場で使われている曲を効果的に学習できるように配慮している。
この授業では、幼児教育及び保育の現場で活躍できるための専門知識・技能を習得する。

学修内容	到達目標
①　ソロで音程を意識し、表情豊かに歌う。 ②　曲の理解（歌詞・曲の背景・作詞家・作曲家など） ③　個人指導によりピアノの基礎的な奏法および弾き歌いの基礎知識・技術・表現力を学ぶ。	① 音程を意識し、表情豊かに歌うことができる。 ② 曲を理解し、魅力的な声で歌うことができる。 ③ 子どもたちの音楽表現を支援するためのピアノ演奏と弾き歌いができる。

学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素		学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例
前に踏み出す力	主体性	技術の習得のために自ら練習をすることができる。 授業の中で不明な点や疑問があればそのままにせず質問して解決することができる。
	働きかけ力	
	実行力	困難があっても目標を変更せず到達することができる。
考え抜く力	課題発見力	苦手なことも諦めず課題を見極めることができる。 予習、復習の際に学習上の問題点を考えて取り組むことができる。
	計画力	
	創造力	固定概念に捉われることなくいろいろな方向から考えることができる。
チームで働く力	発信力	自分の感じたことや、考えを発表することができる。
	傾聴力	歌唱・グループ発表を通して、意見交換や自分の意見を述べることができる。
	柔軟性	
	情況把握力	良い授業を作り上げるため、クラス全体の状況を把握することができる。
	規律性	遅刻、無断欠席など、学習意欲欠如をきたす行動をせず、授業が円滑に進行するようルールを守ることができる。欠席した場合は、欠席届を提出し、フォローレポート課題を行う。
	ｽﾄﾚｽｺﾝﾄﾛｰﾙ力	

テキスト及び参考文献

テキスト：「こどものうた200」1,600円　「続こどものうた200」1,800円　小林美実　チャイルド社、「あそびうた大全集200」1,800円　細田淳子　永岡書店、「併用曲集」（ピアノコース別の課題曲の楽譜）500円　音楽研究室編（予価）、「メトードローズピアノ教則本」1,400円　音楽之友社、「全訳バイエルピアノ教則本」900円　全音楽譜出版社、「ブルグミュラー２５の練習曲」「ソナチネ　アルバム１」（全音楽譜出版社）他を、ピアノ進度によって使用する。必要に応じてプリントを配布する。
参考文献：授業中、適宜紹介、指示する。

他科目との関連、資格との関連

他科目との関連：幼児表現（音楽Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ）、子どもの音楽表現、保育内容（表現）
資格との関連：幼稚園教諭二種免許状、保育士資格

学修上の助言	受講生とのルール
・魅力的な声で表情豊かに歌うことを意識し、自信をもって歌うことのできるレパートリーを増やす。 ・ピアノ個人指導で演奏する曲や弾き歌いは暗譜で演奏する。いつでも演奏できるレパートリーが増えるように意識する。授業時間外の練習が毎日必ず必要である。	・欠席・遅刻をしない。時間厳守で積極的な態度で受講する。 ・グループで行うこともあるので、最低限度守らなければいけないこと（ルール・マナー・約束・提出物の期限）を理解し、他人に迷惑をかけない。

【評価方法】

評価対象	評価方法		評価の割合	到達目標				各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント
学修成果	学期末試験	筆記（レポート含む）・実技・口頭試験	45	①				実技試験を実施し、子どもたちの音楽表現を支えるに相応しい表現力、技術力を【到達目標の基準】に基づいて評価する
				②				
				③				
	平常評価	小テスト	0	①				
				②				
				③				
		レポート	0	①				
				②				
				③				
		成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）	45	①	✓			・６週目のクラス授業では発声法の学びの成果発表、８ 週目のクラス授業では弾き歌いの成果発表、15週目のクラス授業では「幼児表現（音楽Ⅱ）」で学んだ曲の中から、対象年齢・ねらい・導入・遊び方を踏まえて、模擬保育形式で演習、発表し、評価をする。 ・所定のピアノ進度が達成できなかった場合は減点する。 ・欠席した場合は、その授業で演習された歌の歌詞を覚えて、次週の授業時にフォローレポート用紙に書いて提出する。未提出の場合は減点する。
				②	✓			
				③	✓			
学修行動		社会人基礎力（学修態度）	10	①	✓			（主体性）（実行力）（課題発見力） ・技術の習得のために自ら練習をすることができる。(1日平均40分) （創造力）（発信力） ・発表・演奏において、学んだことをさらに工夫し発表することができる。 （傾聴力） ・授業の内容や、他人の発表をしっかりと聴き、自分の学びとして意識付けできる。 （規律性） ・遅刻、無断欠席など、学習意欲欠如をきたす行動をせず、授業が円滑に進行するようルールを守ることができる。 ・欠席した場合は、欠席届を提出し、フォローレポート課題を行う。
				②	✓			
				③	✓			
総合評価割合			100					

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
・弾き歌いは、明るい笑顔で歌にふさわしい音楽表現が、明瞭な言葉の発音と拍動に合わせたリズム感で情感豊かに表現できる。 ・ピアノ実技試験は、Aは演奏に必要な技能の上達が特にみられ、表現に優れ、保育現場での実践に問題がないと評価できる。Sはさらに表情豊かに演奏でき、技能、表情共に特に優れていると評価できる。 ・授業態度に問題がなく、自ら進んで学ぼうとする姿勢が顕著である。	・弾き歌いは、歌詞を間違えずに歌にふさわしい音楽表現ができる。 ・ピアノ実技試験は、Cは演奏に必要な技能の上達、獲得がみられ、最後まで演奏できる。Bはさらに、しっかりと安定した演奏ができる。 ・授業態度に問題がなく、自ら進んで学ぼうとする姿勢がある。

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1	オリエンテーション授業の進め方 発声練習・呼吸法・グループ発表 ピアノ個人指導	講義・演習	習った歌を暗譜で歌唱することができる。 ピアノ個人指導において暗譜で演奏し合格することができる。	（予習）次に習う曲の歌詞をよく読む。次のピアノ曲の練習 （復習）習った曲をよく練習し全部覚える。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 情況把握力
2	秋の行事の歌を覚える。 グループ発表・発声練習 ピアノ個人指導	講義・演習（教壇の前に立ち歌を暗譜でグループ発表）後に、内容についてフィードバックする。	習った歌を暗譜で歌唱することができる。 ピアノ個人指導において暗譜で演奏し合格することができる。	（予習）次に習う曲の歌詞をよく読む。次のピアノ曲の練習 （復習）習った曲をよく練習し全部覚える。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 傾聴力
3	秋の童謡を覚える。 グループ発表・発声練習 ピアノ個人指導	講義・演習（教壇の前に立ち歌を暗譜でグループ発表）後に、内容についてフィードバックする。	習った歌を暗譜で歌唱することができる。 ピアノ個人指導において暗譜で演奏し合格することができる。	（予習）次に習う曲の歌詞をよく読む。次のピアノ曲の練習 （復習）習った曲をよく練習し全部覚える。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 傾聴力
4	秋の歌のまとめ・グループ発表 発声練習 ピアノ個人指導	講義・演習（教壇の前に立ち歌を暗譜でグループ発表）後に、内容についてフィードバックする。	習った歌を暗譜で歌唱することができる。 ピアノ個人指導において暗譜で演奏し合格することができる。	（予習）次に習う曲の歌詞をよく読む。次のピアノ曲の練習 （復習）習った曲をよく練習し全部覚える。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 傾聴力
5	あそび歌・秋の歌をソロで歌う。 発声練習 音楽理論（装飾音符・前打音の奏法を覚える） ダンパーペダル・ソフトペダル・ソステヌートペダルの奏法を覚える ピアノ個人指導	講義・演習（教壇の前に立ち歌を暗譜でソロで発表）後に、内容についてフィードバックする。	習った歌を暗譜で歌唱することができる。 ピアノ個人指導において暗譜で演奏し合格することができる。	（予習）次に習う曲の歌詞をよく読む。次のピアノ曲の練習 （復習）習った曲をよく練習し全部覚える。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 傾聴力
6	春の歌を覚える。 グループ発表・発声練習 音楽理論（派生音ダブル♯ダブル♭） ピアノ個人指導	講義・演習（教壇の前に立ち歌を暗譜でグループ発表）後に、内容についてフィードバックする。	習った歌を暗譜で歌唱することができる。 ピアノ個人指導において暗譜で演奏し合格することができる。	（予習）次に習う曲の歌詞をよく読む。次のピアノ曲の練習 （復習）習った曲をよく練習し全部覚える。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 傾聴力
7	夏の歌を覚える。 グループ発表・発声練習 ピアノ個人指導	講義・演習（教壇の前に立ち歌を暗譜でグループ発表）後に、内容についてフィードバックする。	習った歌を暗譜で歌唱することができる。 ピアノ個人指導において暗譜で演奏し合格することができる。	（予習）次に習う曲の歌詞をよく読む。次のピアノ曲の練習 （復習）習った曲をよく練習し全部覚える。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 傾聴力
8	ピアノ実技中間テスト（前半はピアノ個人指導を受ける）	演習・発表の後に、クラス授業担当、ピアノ指導担当教員より内容についてフィードバックする。	マナーに気を配り、曲の最後まで歌いながら暗譜で弾ききることができる。	（予習）演奏のみならず、立ち居振る舞い等考えて、テストに臨む。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 情況把握力 規律性 ｽﾄﾚｽｺﾝﾄﾛｰﾙ力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9	冬の歌を覚える。 グループ発表・発声練習 音楽理論（クレッシェンド・デクレッシェンド） ピアノ個人指導	講義・演習 （教壇の前に立ち、歌を暗譜でグループ発表）後に、内容についてフィードバックする。	習った歌を暗譜で歌唱することができる。 ピアノ個人指導において暗譜で演奏し合格することができる。	（予習）次に習う曲の歌詞をよく読む。次のピアノ曲の練習 （復習）習った曲をよく練習し全部覚える。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 傾聴力
10	クリスマスの歌を覚える。 グループ発表・発声練習 鈴の演奏法・リズムについて ピアノ個人指導	講義・演習 （教壇の前に立ち、歌を暗譜でグループ発表）後に、内容についてフィードバックする。	習った歌を暗譜で歌唱することができる。 ピアノ個人指導において暗譜で演奏し合格することができる。	（予習）次に習う曲の歌詞をよく読む。次のピアノ曲の練習 （復習）習った曲をよく練習し全部覚える。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 傾聴力
11	クリスマスの歌をソロで発表する。 発声練習 拍子について（アラ・ブレーベ２分の２） ピアノ個人指導	講義・演習 （教壇の前に立ち、暗譜でソロで発表）後に、内容についてフィードバックする。	習った歌を暗譜で歌唱することができる。 ピアノ個人指導において暗譜で演奏し合格することができる。	（予習）次に習う曲の歌詞をよく読む。次のピアノ曲の練習 （復習）習った曲をよく練習し全部覚える。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力
12	あそび歌を覚える。 グループ発表・発声練習 ピアノ個人指導	講義・演習 （教壇の前に立ち、暗譜でグループ発表）後に、内容についてフィードバックする。	習った歌を暗譜で歌唱することができる。 ピアノ個人指導において暗譜で演奏し合格することができる。	（予習）次に習う曲の歌詞をよく読む。次のピアノ曲の練習 （復習）習った曲をよく練習し全部覚える。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力
13	卒園の歌を覚える。 発声練習・グループ発表 ピアノ個人指導	講義・演習 （教壇の前に立ち、暗譜でグループ発表）後に、内容についてフィードバックする。	習った歌を暗譜で歌唱することができる。 ピアノ個人指導において暗譜で演奏し合格することができる。	（予習）次に習う曲の歌詞をよく読む。次のピアノ曲の練習 （復習）習った曲をよく練習し全部覚える。	90	実行力 課題発見力 創造力 傾聴力 情況把握力
14	卒園の歌をソロで発表する。 ピアノ個人指導	講義・演習 （教壇の前に立ち、暗譜でソロで発表）後に、内容についてフィードバックする。	習った歌を暗譜で歌唱することができる。 ピアノ個人指導において暗譜で演奏し合格することができる。	（予習）次に習う曲の歌詞をよく読む。次のピアノ曲の練習 （復習）習った曲をよく練習し全部覚える。	90	実行力 課題発見力 創造力 傾聴力 情況把握力
15	自分の得意な歌をソロで発表する。 ピアノ個人指導	講義・演習 （教壇の前に立ち、暗譜でソロで発表）後に、内容についてフィードバックする。	模擬保育形式の内容を準備し発表することができる。 ピアノ個人指導において暗譜で演奏し合格することができる。	（予習）保育者に求められる要点を踏まえて模擬保育形式の演習に臨む。次のピアノ曲の練習 （復習）習った曲をよく練習し全部覚える。	90	実行力 課題発見力 情況把握力

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 情況把握力 規律性 ｽﾄﾚｽｺﾝﾄﾛｰﾙ力

2021年度 愛知学泉短期大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
52403	幼児表現(音楽Ⅲ) Infant expression (MusicⅢ)	津島忍・本多峰和・ピアノ指導担当教員		共通	1	選択	2前期

科目の概要

「幼児音楽表現Ⅲ」はクラス授業とピアノ個人指導を並行して開講する。
クラス授業では、子どもたちの音楽的表現を支え、一緒に楽しめる保育者になるための基本的な知識と技術、表現力を身につける。自己を肯定的に捉え、音楽表現力を高める。創造的に音楽に取り組む姿勢を修得する。また就職試験における音楽表現力も視野に入れ取り組む。
ピアノ指導では、1年次で習得した基礎的な奏法と知識、そしてクラス授業で学んだ音楽表現や歌唱の技能を応用し、さらに表現力豊かな演奏を目指す。指導は個人指導で行われ、就職試験や現場で使われている曲をより実践的に学習できるように配慮している。

学修内容	到達目標
① 音楽的成長と発達との関わりを知る。 ② 日本人が影響を受けた音楽教育について理解する。 ③ グループによる音楽作品づくり。 ④ 小物楽器の奏法を学ぶ。 ⑤ ピアノ個人指導では、ピアノカルテに指定された曲で、子どもたちの音楽活動 を支援するためのピアノ演奏に必要な表現力、技術力を身につける。	① 音楽的成長に関わる発達について説明できる。 ② 日本人が影響を受けた音楽教育について説明できる。そこに含まれるリズムについて考えることができる。 ③ 身の回りの物を使ったアンサンブルが創作できる。 ④ 楽器の奏法に慣れ、生き生きと表現できる。 ⑤ 子どもたちの音楽活動を支援するためのピアノ奏法と弾き歌いができる。

学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素		学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例
前に踏み出す力	主体性	技術の習得のために自ら練習をすることができる。 授業の中でわからないことや疑問があればそのままにせず質問して解決することができる。
	働きかけ力	
	実行力	困難があっても目標を変更せず到達することができる。
考え抜く力	課題発見力	苦手なことも諦めず課題を見極めることができる。 予習、復習の際に学習上の問題点を考えて取り組むことができる。
	計画力	
	創造力	固定概念に捉われることなくいろいろな方向から考えることができる。
チームで働く力	発信力	自分の感じたことや、考えを発表することができる。
	傾聴力	相手が言いたいことは何だろうかと考えながら聞くことができる。
	柔軟性	
	情況把握力	良い授業を作り上げるため、クラス全体の状況を把握することができる。
	規律性	無断欠席をせず、授業が円滑に進行するようルールを守ることができる。
	ｽﾄﾚｽｺﾝﾄﾛｰﾙ力	

テキスト及び参考文献

テキスト：
「手あそび・体あそび・わらべうたがいっぱい　あそびうた大全集200」細田淳子著　永岡書店、「こどものうた200」1600円・「続こどものうた200」1800円　小林美実編　チャイルド社、「わらべうた」450円（予価）・「併用曲集」（ピアノコース別の課題曲集）音楽研究室編　400円（予価）その他、必要に応じてプリントを配布することがある。
参考文献：授業中、適宜紹介、指示する。
・「メトードローズ　ピアノ教則本」（音楽之友社）1400円・「全訳バイエル　ピアノ教則本」(全音楽譜出版社)900円　他を、ピアノ進度によって使用する。

他科目との関連、資格との関連

他科目との関連：幼児音楽表現Ⅰ・Ⅱ、子どもの音楽表現、保育内容（表現）
資格との関連：幼稚園教諭二種免許状、保育士資格

学修上の助言	受講生とのルール
季節の歌や手遊び、楽器あそびなど、実習などの現場をイメージして、自分のレパートリーを増やす。 ・ピアノ個人指導で演奏する曲や弾き歌いは暗譜で演奏する。いつでも演奏できるレパートリーが増えるように意識する。予習（練習）が必ず必要です。	・表現の授業なので積極的な態度で受講する。 ・前半にピアノの授業を受けた学生は後半の入れ替え時に、音楽教室にて出席確認を行う。

【評価方法】

評価対象	評価方法		評価の割合	到達目標				各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント
学修成果	学期末試験	筆記（レポート含む）・実技・口頭試験	45	①				実技試験を実施し、子どもたちの音楽表現を支えるに相応しい表現力、技術力を【到達目標の基準】に基づいて評価する。
				②				
				③				
				④				
				⑤	✓			
	平常評価	小テスト	0	①				
				②				
				③				
				④				
				⑤				
		レポート	0	①				
				②				
				③				
				④				
				⑤				
		成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）	45	①	✓			・授業時における個人作品発表、グループ作品発表は、姿勢、表現力、構成力、技術　力を評価する。 ・プリントを参考に「幼児音楽表現」について自分の考えをまとめたものを評価す　る。 ・グループワーク、ディスカッションの内容を評価する。 ・授業の振り返りとして、リズムについて自分の考えをまとめたものを評価する。 ・８週目のクラス授業では弾き歌いの成果発表 ・所定のピアノ進度が達成できなかった場合は減点する。 ・【到達目標の基準】に基づいて評価する。
				②	✓			
				③	✓			
				④	✓			
				⑤				
学修行動		社会人基礎力（学修態度）	10	①	✓			（主体性）（実行力）（課題発見力） ・技術の習得のために自ら練習をすることができる。 （1日平均40分） ・ピアノカルテ各期のピアノ進度が達成できなかった場合は減点する。 （創造力）（発信力） ・発表・演奏において、学んだことをさらに工夫し発表することができる。 （規律性）（傾聴力） ・テキスト教材の楽譜を忘れたら、1冊につき1点を減点する ・授業態度、学習意欲欠如(練習不足)、課題やその他の提出物の未提出、グループ活動への非協力などが見られる場合は減点する。 ・欠席した場合は、欠席届を提出し、フォローレポート課題を行う。
				②	✓			
				③	✓			
				④	✓			
				⑤	✓			
総合評価割合			100					

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
・幼児の音楽表現全般に対する知識と技能の獲得とバランスが特に優れている。（S）幼児の　音楽表現全般に対する知識と技能の獲得とバランスが優れている（A）。 ・弾き歌いの実技試験は、Aは歌にふさわしい音楽表現が、明瞭な言葉の発音と拍動に合わせたリズム感で歌うことができると評価できる。Sはさらに明るい笑顔で情感豊かに表現できると評価できる。 ・ピアノ実技試験は、Aは演奏に必要な技術の上達が特にみられ、表現に優れ、保育現場での　実技に問題がないと評価できる。Sはさらに表情豊かに演奏でき、技能、表情、共に特に優れていると評価できる。 ・授業態度に問題がなく、自ら進んで学ぼうとする姿勢が顕著である。	・幼児の音楽表現全般に対する知識と技能を獲得している（B）幼児の音　楽表現全般に対する知識と技能を理解している（C）。 ・弾き歌いの実技試験は、Cは、歌詞を間違えずに音程正しく歌うことが　できる。ピアノ伴奏も間違えずに弾くことができる。Bは対象年齢・ね　らい・導入・遊び方をふまえて歌にふさわしい音楽表現ができる。 ・ピアノ実技試験は、Cは演奏に必要な技能の上達、獲得がみられ、最後まで演奏できる。Bはさらに、しっかりと安定した演奏ができる。 ・授業態度に問題がなく、自ら進んで学ぼうとする姿勢がある。

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1	オリエンテーション 「幼児音楽表現」について抜粋したプリントを読み理解を深める。 ピアノ個人指導	講義・演習	授業説明を聴くことができる。「幼児音楽表現」について広義にとらえ説明できる。 ピアノ個人指導において暗譜で演奏し合格することができる。	（予習）次のピアノ曲の練習 （復習）配布したプリントを読み、更に理解を深める。	45	主体性 実行力 課題発見力 創造力 規律性
2	子どもたちの音楽的成長と発達① ピアノ個人指導	講義・演習 グループワーク フィードバック（創作表現遊びの評価をする）	0～3歳の発達と音楽表現との関わりを考え説明できる。 ピアノ個人指導において暗譜で演奏し合格することができる。	（予習）次のピアノ曲の練習 （復習）配布したプリントを読み、更に理解を深める。	45	主体性 実行力 課題発見力 創造力 規律性
3	子どもたちの音楽的成長と発達② ピアノ個人指導	講義・演習 グループワーク フィードバック（創作表現遊びの評価をする）	4～6歳の発達と音楽表現との関わりを考え説明できる。 ピアノ個人指導において暗譜で演奏し合格することができる。	（予習）次のピアノ曲の練習 （復習）配布したプリントを読み、更に理解を深める。	45	主体性 実行力 課題発見力 傾聴力 規律性
4	日本人が影響を受けた音楽教育（ダルクローズ） ピアノ個人指導	講義・演習 グループワーク	ダルクローズ・リトミックの実践を説明できる。 ピアノ個人指導において暗譜で演奏し合格することができる。	（予習）次のピアノ曲の練習 （復習）配布したプリントを読み、更に理解を深める。	45	主体性 実行力 課題発見力 創造力 傾聴力 規律性
5	日本人が影響を受けた音楽教育（コダーイ） ピアノ個人指導	講義・演習 グループワーク	コダーイ・システムの実践を説明できる。 ピアノ個人指導において暗譜で演奏し合格することができる。	（予習）次のピアノ曲の練習 （復習）配布したプリントを読み、更に理解を深める。	45	主体性 実行力 課題発見力 創造力 傾聴力 規律性
6	日本人が影響を受けた音楽教育（オルフ） ピアノ個人指導	講義・演習 グループワーク	オルフ教育の実践を説明できる。 ピアノ個人指導において暗譜で演奏し合格することができる。	（予習）次のピアノ曲の練習 （復習）配布したプリントを読み、更に理解を深める。	45	主体性 実行力 課題発見力 創造力 傾聴力 規律性
7	乳児対象の遊ばせ歌を習得する。 ピアノ個人指導	講義・演習 グループワーク	年齢にあった言葉がけと遊び歌の実践を行うことができる。 ピアノ個人指導において暗譜で演奏し合格することができる。	（予習）次のピアノ曲の練習 （復習）「手あそび・体あそび・わらべうたがいっぱいあそびうた大全集200」の中から授業で扱った曲の復習	45	主体性 実行力 課題発見力 傾聴力 規律性
8	ピアノ実技中間テスト（前半はピアノ個人指導を受ける）	演習・発表	マナーに気を配り、曲の最後まで歌いながら暗譜で弾ききることができる。	（予習）演奏のみならず、立ち居振る舞い等考えて、テストに臨む。	45	主体性 実行力 課題発見力 創造力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 情況把握力 規律性 ｽﾄﾚｽｺﾝﾄﾛｰﾙ力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9	2～3歳児対象の遊び歌を習得する。 ピアノ個人指導	講義・演習 グループワーク フィードバック（創作表現遊びの評価をする）	年齢にあった言葉がけと遊び歌の実践を行うことができる。 ピアノ個人指導において暗譜で演奏し合格することができる。	（予習）次のピアノ曲の練習 （復習）「手あそび・体あそび・わらべうたがいっぱいあそびうた大全集200」のP342～343を読み理解を深める。	45	主体性 実行力 課題発見力 創造力 規律性
10	4～5歳児対象の遊び歌を習得する。 ピアノ個人指導	講義・演習 グループワークフィードバック（創作表現遊びの評価をする）	年齢にあった言葉がけと遊び歌の実践を行うことができる。 ピアノ個人指導において暗譜で演奏し合格することができる。	（予習）次のピアノ曲の練習 （復習）配布したプリントを読み、更に理解を深める。	45	主体性 実行力 課題発見力 創造力 規律性
11	小物楽器の正しい扱いができる。 ピアノ個人指導	講義・演習 グループワーク フィードバック（楽器奏法の評価をする）	小物楽器の正しい奏法を身につけ、年齢に合った楽器奏法の指導ができる。 ピアノ個人指導において暗譜で演奏し合格することができる。	（予習）次のピアノ曲の練習 （復習）配布したプリントを読み、更に理解を深める。	45	主体性 課題発見力 創造力 傾聴力 規律性
12	身体コミュニケーションを学ぶ。 ピアノ個人指導	演習 グループワーク	五感を使い、言語を使わないコミュニケーションができる。 ピアノ個人指導において暗譜で演奏し合格することができる。	（予習）「五感」について調べておく。 次のピアノ曲の練習	45	実行力 課題発見力 創造力 発信力 規律性
13	ボディパーカッションを学ぶ。 ピアノ個人指導	演習 グループワーク フィードバック（ボディパーカッションの評価をする）	リズムにのってボディパーカッションを行うことができる。 ピアノ個人指導において暗譜で演奏し合格することができる。	（予習）次のピアノ曲の練習 （復習）配布したプリントを読み、更に理解を深める。	45	主体性 実行力 課題発見力 創造力 規律性
14	石を使ってのアンサンブルを学ぶ。 ピアノ個人指導	演習 グループワーク フィードバック（石のアンサンブルの評価をする）	協力して石を使った作品に取り組むことができる。 ピアノ個人指導において暗譜で演奏し合格することができる。	（予習）次のピアノ曲の練習 （復習）配布したプリントを読み、更に理解を深める。	45	実行力 課題発見力 創造力 発信力 規律性
15	授業全体のまとめを行う。 ピアノ個人指導	講義・演習 ディスカッション グループワーク	授業の振り返りを積極的な態度で参加できる。 ピアノ個人指導において暗譜で演奏し合格することができる。	（予習）次のピアノ曲の練習	45	実行力 課題発見力 創造力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 情況把握力 規律性 ｽﾄﾚｽｺﾝﾄﾛｰﾙ力